

平成29年度 いばらき輝く教師塾

茨城県教育研修センター

第2日 9月30日(土)

特別講演会「経営革新のリーダーシップ」



株式会社ヤマオコーポレーション
代表取締役 鬼澤 慎人 氏

【要旨】

- ・先が見えない変化の時代においては、他者との話し合いにより新たな知恵を生み出すことが求められる。「覚えること」よりも「考えること」が大切である。
- ・教員は、一人一人の子どもに関心を持ち、子どもの表情などを意識しながら観察し、子どもの変化に気付いて声かけをするなど、素早く対応することが求められている。
- ・変化に対して成果を出し続けるためには、変化に気づき、素早く対応すること、変化を予測して準備することが必要である。そして、変化を楽しみ、変化に強い体質になるとともに自ら変化を起こすことが大切である。

<講義>

一人一人の子どもを大切にできる教師の対応

講義資料



茨城県教育研修センター教育相談課
指導主事 関口 一治

【要旨】

- ・私たち一人一人が持っている物事を捉える枠組みは「フレーム」と呼ばれ、それぞれが独自のフレームを持っているため、同じ物事でも人によって見方や感じ方が違う。つまり、フレームを換えれば捉え方が違ってくる。
- ・フレームを換えることを「リフレーミング」という。リフレーミングによって教師は、子どもをある限定されたフレームだけでみるのではなく、多様な捉え方をすることができ、子どもの潜在力を引き出したり、自己効力感（うまくやれそうだという確信）や自己肯定感（自分の価値や存在を認める感情）を高めたりすることができる。

<ワークショップ> 一人一人の子どもを大切にする教師の対応



塾生のアンケートより

特別講演会「経営革新のリーダーシップ」の感想

- ・変化をしっかりとらえて対応していくこと、そして、自分から変化を創ることが大切だということを学んだ。【学生】
- ・教師として、社会の変化に対応するために、学び続け、授業改善に努めていきたい。【若手教員】
- ・変化に気付くには、何事にも関心をもつことが大切だということが分かった。【学生】
- ・教員は、社会や歴史を知ること、変化を起こし、柔軟に対応すること、意見を持ち語れる人になることが大切だと感じた。【若手教員】

本日の感想

- ・ワークショップでは、初対面の方と交流し、様々な考えを聞くことができたので、とても充実した活動だった。【学生】
- ・ワークショップでは、リフレーミングされる嬉しさを実感することができた。【学生】
- ・リフレーミングを体験することで、短所も見方によって長所になることを実感した。多方面から児童を見ることができる教師になりたいと思った。【学生】
- ・リフレーミングについて学んだことを今後の生徒指導に生かしたい。ただし、リフレーミングは、生徒との信頼関係が大切なので、日々の関わりを大切にしたい。【若手教員】